

2024 年 7 月 6 日(土)夜 『神聖で繋がり合う日』 メール前文

テーマ『果因説』

白光真宏会の西園寺昌美会長は、その著書【果因説―意識の転換で未来は変わる】のなかの第一章『果因説―二十一世紀の意識改革』のなかで、「地球に真の平和社会を築くためには、人類の意識に抜本的な意識変革が必要である」と述べられました。それが『果因説』であり、その文章は、船井本社から発行されている『ザ・フナイ』の 2012 年 4 月号にも掲載されました。

この著書の中で『果因説』は、次のような言葉で説明されています。

- ・これまでの因縁因果の法則を超越して生きられる方法である
- ・自分自身の内なる輝きや本来持っている無限なる資質・エネルギー等を引き出し、それによって希望に満ちた自分の未来を創りあげてゆく方法である
- ・先に結果をイメージし、創り出すことによって、自ずと原因がそれに従ってくるという法則に基づき現実が動く
- ・そのコツは、有限なる物質世界に焦点を合わせるのではなく、すでに心の中にある無限なるものに心の焦点を合わせること
- ・“因果律の生き方”から果因説を選択することによって生ずる“果因律の生き方”にシフトするには、「すべての結果は初めから自分の中にある」という事実を信じることから始めるとよい
- ・果因説は、自らに内在している素晴らしい資質、本来の幸福に心の焦点を合わせ、引き出す方法である

またその文章の最後には、そのように果因説を選択することによって生ずる“果因律の生き方”に意識のステージを引き上げ、「自らの人生を輝かしく創造してゆくためには、まずいかなる自分であろうと、そのまま素直に受容し、果因説に則って生きる必要がある」とあります。

この文章の中で特筆すべき大切な箇所は、「いかなる自分であろうと、そのまま素直に受容する」という部分です。それを実際に行なうために必要なことは次の 2 点です。

- ・生命の本質である“神聖”を生き切るために、常日頃から真理・光・神聖の言(ことば)を、ひまがあれば唱えつづける
- ・また、本来の自分を生き切るために、次のような言葉で宣言しつづけるとよい

「私は幸福です。私は心から自分を愛し、信頼しています。そして私に備わっている能力をもって、輝いた未来を創造します。私は、人のために役立つ生き方をしてゆきます。」

そうした抜本的な意識改革、心の基礎工事が進んでゆくに伴って、私たちの人生に生ずる万事が、自らの思うような状況に調ってゆきます。そこで土曜日の夜は、果因説による根本的な意識変革を促すためのプログラムを行ない、私たち個々人が、他の何ものにも頼らずに、思いのままに人生を創造するきっかけの日にしてまいります。すでにそうした生き方をご自分のものにしていらっしゃる方は、全員がそうした生き方にシフトできますよう、どうか力をお与えください。

2024 年 7 月 6 日(土) 夜『神聖で繋がり合う日』 初めの話

木曜日に送った案内メールの終わりの方で、「そうした抜本的な意識改革、心の基礎工事が進んでゆくに伴って、私たちの人生に生ずる万事が、自らの思うような状況に調ってゆきます。」と書きました。

現実の私たちの人生を、神聖の視座に立って冷静に省みますと、今が実際に自らが思うような状況でなかったとしてさえも、私たちが創った現実の生活は、自分が思ったとおりの人生、思いどおりの現実だといえます。それは、因縁因果・因果応酬の因果律を、当たり前と認めた意識で生きていたからです。

では、果因律、逆因果律を用いて根本的な意識改革を行ない、私たちの人生に生ずる万事を自らの思うような状況に調べてゆくためには、どう取り組めばよいのでしょうか？それには、「私たち地球人類は皆、宇宙神の末裔である」と自覚した意識をもって、画き現わした結果へと向かって、原因を積み重ねてゆく生き方をすることです。

私は、そのために欠かすことができない神聖に基づいた発想原理を「果因説」であると思っております。ここでそれを証明する具体的なひとつの事例を紹介します。それは、6月22日土曜日のこの時間に紹介した福岡の古賀さんの生き方です。

古賀さんは、無限なる資質を発揮して、自己限定の想いの癖を克服しながら今、過去の人間の常識では考えられないような力を発揮して生きておられます。それは、どのようにして可能になったのでしょうか？

その答えは、ご本人から伺ったお話の中にあります。古賀さんは60歳で定年退職した後、5年間延長して働かれ、65歳の時に“職業としてのお仕事”を卒業されました。そのときに彼女が強く願ったことがあったそうです。

それは、「私は退職後の人生のすべてを宇宙神にお返しいたします。私の退職後の人生を、どうか神さまのお仕事にお使いください。」というもので、すべての自我を生命の本質に還元して、「私は神々の一員として生きてまいります」という宣言でした。

その宣言を繰り返したことで、古賀さんのその後の人生は「神さまのお仕事に使っていただく人生」とご自身が望んだとおり、一切の私心を卒業した境地へと移行されました。この例から観えてくることは、意識の初期設定が大事であるということです。

また、そのような方が全国に、他にもたくさんおられることをここで申し伝えておきます。

ということで本日は、私たちの意識の初期設定を改めて神聖ファーストにリセットして、私たちの人生に生ずる万事が、“神としての私たちが思うとおりの状況”へ調ってゆきますように、マインドセットを調整する時間にしてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは時間になりますので、はじめに、世界平和の祈りを日本語と英語で行ないます。

それでは始めます。

★♥☆★♥☆★♥☆★♥☆★♥☆★♥☆★

1. 世界平和の祈り

世界人類が平和でありますように
日本が平和でありますように
私たちの天命が完うされますように
守護霊様、ありがとうございます。守護神様、ありがとうございます。

May peace prevail on Earth.
May peace be in our homes and countries.

**May our missions be accomplished.
We thank you, guardian divinities and guardian spirits.**

★♥☆♥★♥☆♥★♥☆♥★♥☆♥★

ありがとうございます。次は、『どのような自分をも受容する宣言』を行ないます。画面の文字を三回連続で声に出して宣言します。

2. どのような自分をも受容する宣言 [三回繰り返し宣言する]

「私は、他人を低く見たり、赦さなかったり、憎んだり、妬んだり、恨んだり、疎ましいと思う、あらゆる自分を無条件で赦します。」

「私は、自分を低く見たり、神聖を疑ったり、自らを赦さなかったり、自他を分離したものと見るなどの、あらゆる想いの癖を無条件で抱きしめます。」

「私は、いのちに内在している無限なる治癒力・新陳代謝力・創造力・智慧や叡智を忘れ果て、自己限定や自己否定してきた、あらゆる自分を無条件で愛し、慈しみます。」

ありがとうございます。次は、『果因説による自身への宣言』を行ないます。画面の文字を三回連続で声に出して宣言します。

3. 果因説による自身への宣言

ありがとうございます。次は、『果因説による自身への宣言』を行ないます。画面の文字を三回連続で声に出して宣言します。

「私は宇宙神の末裔であり、守護霊・守護神の加護のもと、無限なる愛と創造力を持って生きています。故に、私は幸福です。私は心から自分を愛し、信頼しています。私はこれからも、自らに備わっている無限なる能力をもって、輝いた未来を創造いたします。私は、世のため人のために、役立つ生き方をしてまいります。」

[三回繰り返し宣言する]

ありがとうございます。それでは3回目を始めます。次は14分の統一です。

4. 世界平和の祈りによる統一

世界人類が平和でありますように
日本が平和でありますように
私たちの天命が完うされますように
守護霊様、ありがとうございます。守護神様、ありがとうございます。

**May peace prevail on Earth.
May peace be in our homes and countries.
May our missions be accomplished.
We thank you, guardian divinities and guardian spirits.**

ありがとうございます。最後に、神聖復活の印を行ないます。「はい」の合図で、一緒に宣言をしてお組みください。本日は、7回連続を1回行ないます。それでは始めます。はい。

4. 神聖復活の印 - 7 回連続 - 1 セット -

私達は大自然・生きとし生けるもの・人類すべてと一つに結ばれています。
ゆえに私たちをとおして、すべての精神波動と物質波動に神聖が甦ります。

[神聖復活の印を七回連続]

★♥☆☆♥☆☆♥☆☆♥☆☆♥☆☆♥☆☆♥☆☆♥☆☆

以上